



暮らしにまつわる比較検討におけるAI利用実態調査

～AIに聞いた人の65%が誤回答を経験するも、81%が継続利用意向～

■ 調査概要

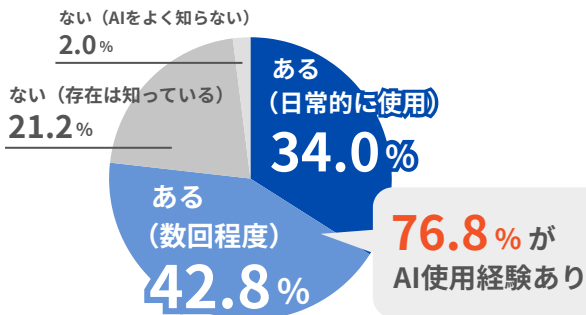
- 調査期間：2026年4月
- 調査対象：全国の20歳以上の男女500名
- 調査方法：インターネット調査
- 調査主体：株式会社クラシエルジュ

主要調査結果

調査結果①

暮らしにまつわる比較検討にAIを使用したことがある人は**76.8%**

Q. 暮らしにまつわるサービスや商品・プランの比較検討についてAIに質問・相談したことはありますか？



Q. 利用したことがあるAIをすべて選んでください

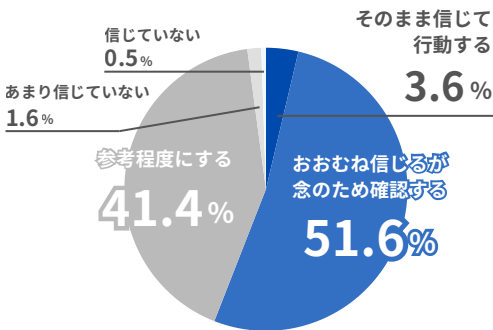


! ChatGPTが圧倒的なシェア

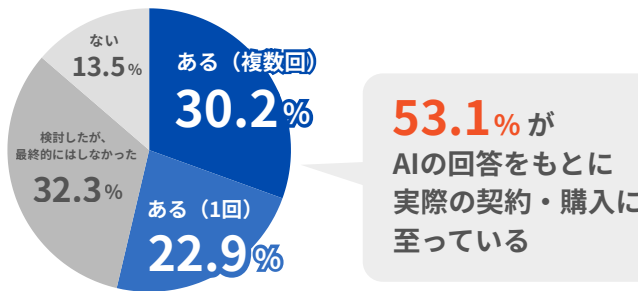
調査結果②

AIの回答を信頼している人は**約55%**
半数以上がAIの回答をもとに実際に契約・購入している

Q. AIの回答をどの程度信頼していますか？



Q. AIの回答をもとに、実際にサービスの契約・変更・購入をしたことはありますか？



【リリースに関するお問い合わせ】

株式会社クラシエルジュ

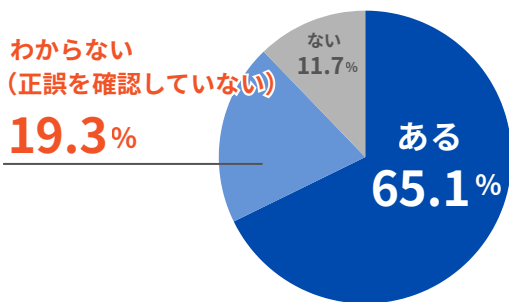
TEL：03-6804-0166

Email：support@cracierge.co.jp

調査結果③

AIに相談した人の65%が 誤った回答を受けた経験あり

Q. AIの回答が間違っていた・不正確だったという
経験はありますか？

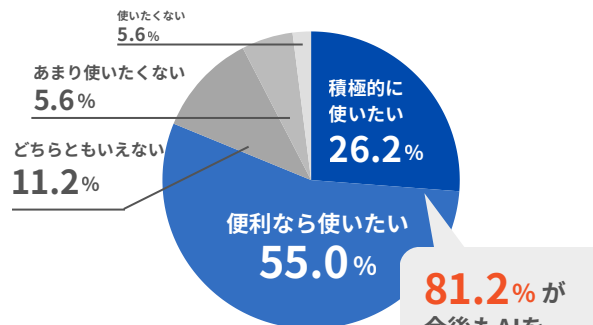


❗ 「わからない (正誤を確認していない)」層は
誤情報に気づかないまま判断している可能性あり

調査結果④

誤回答を経験しながらも全体の81%が 今後もAIを使用したいと回答

Q. 今後、暮らしにまつわるサービスや商品・プランの
比較検討にAIを使いたいと思いますか？



81.2%が
今後もAIを
使いたいと回答

調査結果から読み解く3つの課題

- 課題①：AIを信頼する人が55%いる一方で、65%が誤回答を経験しており、信頼と実態にギャップが生じている
- 課題②：AIの回答の正誤を確認していない層が約2割存在し、誤情報に基づく判断のリスクがある
- 課題③：それでも81%が今後もAIを使いたいと回答しており、AI利用は今後さらに拡大することが予想される

クラシェルジュ「AIに聞いてみた」シリーズを開始。回答精度を毎月検証へ

81%がAIを使い続けたいと回答する一方で、回答精度を第三者が検証する仕組みは現状存在しません。クラシェルジュは「AIに聞いてみた」シリーズとして、主要AIの回答精度を毎月テーマを変えて検証し、半年後に同一条件で再検証する定点観測プロジェクトを開始します。

次回予告 (2026年5月公開予定)

Vol.1 テーマ：「一人暮らしにおすすめの電力会社」
主要AI (ChatGPT) に100回質問し、回答の正確性を検証した結果を発表。